



2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月7日

上場会社名 株式会社 大盛工業 上場取引所 東
コード番号 1844 URL <https://www.ohmori.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗城 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 及川 光広 TEL 03-6262-9877
四半期報告書提出予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の連結業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	4,353	△0.6	522	44.8	502	29.9	368	19.4
2023年7月期第3四半期	4,380	14.5	360	55.4	386	64.4	309	69.3

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 368百万円 (19.4%) 2023年7月期第3四半期 309百万円 (69.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	20.39	19.90
2023年7月期第3四半期	20.50	19.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期第3四半期	11,303	5,572	48.6	294.54
2023年7月期	11,406	5,144	44.4	289.36

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 5,494百万円 2023年7月期 5,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年7月期	—	0.00	—	—	—
2024年7月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年7月期の連結業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,106	0.9	581	28.8	557	28.7	384	31.2	21.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	18,672,849株	2023年7月期	17,522,849株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	18,155株	2023年7月期	17,565株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	18,098,185株	2023年7月期3Q	15,070,845株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善等により回復基調にあるものの、急速な円安の進行や世界情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰、各国の金融引き締め政策等の要因により依然として先行きの不透明な状況が続いております。

国内建設市場におきましては、防災・国土強靱化等を背景に公共建設投資は底堅く推移し、東京都における上・下水道設備につきましても、老朽化した施設・管路の再構築工事、災害被害低減のための設備工事等の発注が継続して行われている一方、建設資材価格の高騰や建設業就業者の減少及び高齢化問題等により、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの主力の建設事業におきましては、完成工事利益の更なる増加に向け、建設コストの削減及び工期短縮等の徹底に注力するとともに、得意とする上・下水道工事のほか、新たな土木業種の受注にも積極的に取り組んでまいりました。

不動産事業におきましては、賃貸不動産の入居率の更なる向上並びに保有物件の販売に向けた営業活動を展開するほか、利回りの高い優良物件の新たな取得に取り組んでまいりました。

OLY事業におきましては、現在の収益基盤である東北・関東圏における受注・売上増加を目指した営業活動を継続するとともに、関東以南エリアにおける新規顧客の獲得並びに受注増加を目指し、名古屋OLY営業所を基軸とした営業強化を進めてまいりました。

通信関連事業におきましては、NTT施設内設備の保守・運用業務、開通工事業務の受注増加に注力するとともに、新規管理案件の獲得及び新たな工種の受注にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,353,276千円（前年同期比0.6%減）、営業利益は522,162千円（前年同期比44.8%増）、経常利益は502,042千円（前年同期比29.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は368,938千円（前年同期比19.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。また、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

(建設事業)

建設事業におきましては、受注高4,931,202千円（前年同期比37.8%増）、売上高3,181,359千円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益（営業利益）330,478千円（前年同期比106.8%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産物件の売却並びに賃貸収入、クローゼットレンタル事業により、売上高428,422千円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益（営業利益）51,999千円（前年同期比59.5%増）となりました。

(OLY事業)

OLY事業におきましては、OLY機材のリース販売等により売上高450,354千円（前年同期比9.4%減）、セグメント利益（営業利益）85,359千円（前年同期比34.7%減）となりました。

(通信関連事業)

通信関連事業におきましては、NTT局内の通信回線の保守・管理業務等により、売上高308,334千円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益（営業利益）54,325千円（前年同期比45.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産の残高は、11,303,549千円となり、前連結会計年度末に比べ102,947千円減少いたしました。主な理由は、現金及び預金の増加795,901千円、受取手形・完成工事未収入金等の減少808,008千円、未成工事支出金の減少47,078千円、不動産事業等支出金の増加30,638千円、販売用不動産の減少168,229千円、建物・構築物（純額）の減少4,540千円、機械・運搬具（純額）の増加19,568千円、のれんの減少14,007千円、保険積立金の増加50,147千円によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債の残高は、5,730,775千円となり、前連結会計年度末に比べ530,984千円減少いたしました。主な理由は、短期借入金の増加481,904千円、未払法人税等の増加63,162千円、未成工事受入金の減少581,910千円、長期借入金の減少493,022千円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、5,572,774千円となり、前連結会計年度末に比べ428,036千円増加いたしました。主な理由は、資本金の増加100,027千円、資本剰余金の増加100,027千円、利益剰余金の増加229,210千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の通期の業績予想につきましては、2024年3月11日付の当社「2024年7月期業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,398,166	3,194,067
受取手形・完成工事未収入金等	2,648,210	1,840,201
未成工事支出金	127,145	80,067
不動産事業等支出金	21,610	52,248
販売用不動産	5,115,026	4,946,796
貯蔵品	30	27
その他	85,777	104,437
貸倒引当金	△649	△995
流動資産合計	10,395,316	10,216,850
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	146,534	141,993
機械・運搬具（純額）	95,403	114,971
土地	472,244	472,244
有形固定資産合計	714,182	729,209
無形固定資産		
のれん	37,502	23,494
その他	1,444	1,142
無形固定資産合計	38,947	24,637
投資その他の資産		
長期貸付金	3,163	1,986
保険積立金	8,000	58,147
退職給付に係る資産	65,851	98,972
繰延税金資産	43,152	41,342
その他	179,047	141,033
貸倒引当金	△41,164	△8,629
投資その他の資産合計	258,050	332,852
固定資産合計	1,011,180	1,086,699
資産合計	11,406,497	11,303,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	380,591	336,158
短期借入金	346,593	828,498
未払金	28,882	11,764
未払法人税等	73,524	136,687
未成工事受入金	1,070,344	488,434
退職給付引当金	—	9,283
賞与引当金	108,166	146,858
役員賞与引当金	19,411	14,215
完成工事補償引当金	17,528	15,647
その他	149,383	164,023
流動負債合計	2,194,426	2,151,571
固定負債		
長期借入金	4,008,946	3,515,924
役員退職慰労引当金	13,770	17,235
資産除去債務	13,766	13,766
その他	30,850	32,278
固定負債合計	4,067,333	3,579,204
負債合計	6,261,759	5,730,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,265	3,101,292
資本剰余金	939,423	1,039,450
利益剰余金	1,178,883	1,408,094
自己株式	△54,216	△54,340
株主資本合計	5,065,355	5,494,496
新株予約権	79,381	78,277
純資産合計	5,144,737	5,572,774
負債純資産合計	11,406,497	11,303,549

（2）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）
売上高		
完成工事高	3,171,540	3,181,359
不動産事業売上高	464,440	428,422
OLY事業売上高	478,629	435,159
通信関連売上高	265,910	308,334
売上高合計	4,380,520	4,353,276
売上原価		
完成工事原価	2,739,645	2,552,837
不動産事業売上原価	370,680	328,487
OLY事業売上原価	321,886	323,261
通信関連原価	201,331	222,504
売上原価合計	3,633,544	3,427,090
売上総利益		
完成工事総利益	431,894	628,522
不動産事業総利益	93,759	99,934
OLY事業総利益	156,742	111,898
通信関連総利益	64,579	85,830
売上総利益合計	746,976	926,185
販売費及び一般管理費	386,441	404,023
営業利益	360,534	522,162
営業外収益		
受取利息	549	134
固定資産売却益	42,410	—
未払配当金除斥益	1,123	1,344
その他	4,022	2,909
営業外収益合計	48,106	4,388
営業外費用		
支払利息	22,048	24,339
その他	80	168
営業外費用合計	22,128	24,508
経常利益	386,512	502,042
特別利益		
固定資産売却益	—	31,499
その他	—	19
特別利益合計	—	31,519
特別損失		
減損損失	14,502	—
特別損失合計	14,502	—

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
税金等調整前四半期純利益	372,009	533,561
法人税、住民税及び事業税	78,595	162,470
法人税等調整額	△15,592	2,153
法人税等合計	63,003	164,623
四半期純利益	309,006	368,938
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,006	368,938
四半期包括利益	309,006	368,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	309,006	368,938

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	OLY事業	通信関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,171,540	464,440	478,629	265,910	4,380,520	—	4,380,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18,460	—	18,460	△18,460	—
計	3,171,540	464,440	497,089	265,910	4,398,980	△18,460	4,380,520
セグメント利益	159,814	32,600	130,815	37,304	360,534	—	360,534

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△18,460千円は、セグメント間取引消去△18,460千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	建設事業	不動産事業	OLY事業	通信関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,181,359	428,422	435,159	308,334	4,353,276	—	4,353,276
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	15,194	—	15,194	△15,194	—
計	3,181,359	428,422	450,354	308,334	4,368,470	△15,194	4,353,276
セグメント利益	330,478	51,999	85,359	54,325	522,162	—	522,162

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△15,194千円は、セグメント間取引消去△15,194千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首より、従来「不動産事業等」に含めていたOLYリース事業を量的な重要性が増したため、「OLY事業」として独立のセグメントに変更いたしました。

また、「その他」として報告しておりましたクローゼットレンタル事業につきましては、金額的な影響が軽微なことから、「不動産事業」に含めることといたしました。

これに伴い、報告セグメントを従来の「建設事業」、「不動産事業等」、「通信関連事業」の3区分から、「建設事業」、「不動産事業」、「OLY事業」、「通信関連事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	OLY事業	通信関連事業	
官公庁	2,906,758	—	—	—	2,906,758
民間	264,782	196,928	95,319	265,910	822,941
顧客との契約から生じる収益	3,171,540	196,928	95,319	265,910	3,729,699
その他の収益 (注)	—	267,511	383,309	—	650,821
外部顧客への売上高	3,171,540	464,440	478,629	265,910	4,380,520

(注) 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる賃貸料収入であります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計
	建設事業	不動産事業	OLY事業	通信関連事業	
官公庁	3,058,673	—	—	—	3,058,673
民間	122,686	131,559	61,048	308,334	623,628
顧客との契約から生じる収益	3,181,359	131,559	61,048	308,334	3,682,301
その他の収益 (注) 1	—	296,862	374,111	—	670,974
外部顧客への売上高	3,181,359	428,422	435,159	308,334	4,353,276

(注) 1. 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる賃貸料収入であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首より報告セグメントの区分を変更しており、詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりです。

なお、前第3四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。